

本数調整伐

本数調整伐は、森林全体の健全な成長を図るため、育成単層林及び育成複層林の下木のうち不要な樹木を伐採するものである。

これによって、保残木の固体の成育を促すとともに、林内、林床に適度の陽光を入れて、林床植生の生育促進を図り、土壌緊縛力及び地表浸食の防止効果を向上させることができる。

施工前



ヒノキの成長にともない林内が暗くなった。

施工後



本数調整伐で林地に日光が差し、明るくなった。

効果として

林床に下層植生が回復し、腐葉土を高めて、土壌微生物、ミミズなどがより活動しやすい環境ができる。この結果、土の団粒構造を豊かにし、森林の保水力が高まることにより、水源かん養機能を高め、また、樹木の根が発達して土石等を保持する力を増し、災害に強い森林ができる。

溪間工による林地の保全

施工前



倒木等の発生

施工後



現地から資材を確保し、溪間工を行った。

効果として

倒木を活用した溪間工により、鉄砲水の発生を未然に防ぐとともに、間伐による森林の健全な育成を通して、災害に強い森林ができる。